

2012年1月19日

アステラス製薬 企業CM「僕はアステラスのくすり。」シリーズ

主人公である医療用医薬品が 移植手術を乗り越え、夢に向かって邁進する 少年への想いを描いた第3弾CM、 1月21日(土)より放映開始のお知らせ

一過去2回に引き続き、アニメーション作家“城井 文”^{あや}さん書下ろしのアニメーションを
女優“本上まなみ”さんのナレーションと、“矢野顕子”さんの音楽にのせて展開一

アステラス製薬株式会社(社長:畑中 好彦、以下、アステラス製薬)は、企業CMシリーズ「僕はアステラスのくすり。」の第3弾「サッカー少年とぼく 決勝戦篇」を、2012年1月21日(土)より放映しますのでお知らせいたします。

アステラス製薬は、2007年より、「明日は変えられる。」のコミュニケーションスローガンとともに、アンメットメディカルニーズを満たす新薬で、世界中の患者さんの健康に貢献していくという、アステラス製薬の企業姿勢を発信していくブランドコミュニケーションを展開しています。

今年度から新たに展開している企業CMは、これまでの企業広告で発信してきた創薬への想いをより深く感じていただけるよう、アステラス製薬のくすり(医療用医薬品)自身が主人公となり、一人称の言葉で語っていくシリーズとなっております。くすり自身のこと、アステラスのこと、医療関係者の方々、社員のこと、研究のことなどを、患者さんの視点から表現し、共感性の高いCMを目指しました。

2011年4月より放映を開始した第1弾では、くすりである主人公の「僕」がどんな存在であるか?の自己紹介と、くすりから見たお医者さんや患者さんとの関わりを描きました。その後、2011年8月より放映を開始した第2弾では、「臓器移植の手術を翌日に控えた、サッカー選手を夢見る少年への想い」を描きました。

そして、1月21日(土)から放映を開始する今回の第3弾CM。無事に移植手術を乗り越え1年半が経過したある日、元気になった少年は、夢にまでみたサッカーの決勝戦に出場し、見事ゴールを決めます。主人公である「くすり」は、家族や友人たちと明るい日常を過ごす少年を見守り、「プロのサッカー選手になる夢、一緒に叶えようね」と優しく寄り添います。

このCMの中でくすりが抱く少年への想いこそまさに、病気で苦しむ患者さん、また、術後の日常を過ごす方々へ抱く、我々アステラス製薬の想いでもあります。

過去2回に引き続き、イラストは優しいタッチの作風で知られるアニメーション作家城井文^{あや}さんに、このCMのためだけのアニメーションを書き下ろしていただきました。

それを引き立てるナレーターに女優本上まなみさんを起用、矢野顕子さんの楽曲にのせて、アステラスの想いを広く、深く伝えていきます。

CM 内容の詳細や放映予定、出演者のプロフィールは、別紙を参照ください。

また、今回は CM に加えて 1 月 23 日(月)から 1 月 27 日(金)まで、朝日新聞(全国通し)・読売新聞(東京)の夕刊フロント面にて、短編小説版「僕は、アステラスのくすり」を展開いたします。

こちらでは、CM では見られない、アステラスのくすりの誕生秘話や、患者さんとの出会いの物語など、全 5 話にわたりお楽しみいただけます。

さらに、交通広告につきましても、下記の通り展開を予定しております。

- ・JR 山手線、京浜東北線・根岸線、中央線等のドア横額面 (1 月 23 日(月)～1 月 29 日(日))
- ・東京メトロ全線のまど上額面 (1 月 20 日(金)～2 月 19 日(日))
- ・JR 西日本普通車まど上額面 (1 月 4 日(水)～1 月 31 日(火))

アステラス製薬は、今後もさまざまな媒体を通じて、病気と闘うすべての人々と、勇気と希望を共有できるようなブランドコミュニケーションを展開していきます。

【本リリースに関する報道関係の方のお問い合わせ先】

アステラス製薬株式会社 広報部

TEL:03-3244-3201 FAX:03-5201-7473

<別紙 1>

■今回のテレビ CMについて

<CM 内容>

「僕はアステラスのくすり。」は、医療用医薬品であるアステラス製薬のくすりが「僕」として一人称で語っていく物語です。「僕」がお医者さんや患者さん、医療従事者にとってどんな存在なのかを自己紹介する第1弾CM、臓器移植手術を翌日に控えたサッカー少年への想いを語る第2弾CMに続き、今回の第3弾では、手術を乗り越え自らの夢に邁進する希望にあふれた少年に寄り添い続ける「僕」を描きます。

* CM カット表は<別紙 2>を参照ください。

<放送予定>

以下の番組で放送していきます。

・TBS系列全国ネット「NEWS23クロス」

毎週月曜日～木曜日 22 時 54 分から(金曜日 23 時 30 分から)

・テレビ東京「Letters ～感謝の手紙～」

毎週木曜日 20 時 54 分から

※ 同番組は BS-JAPAN でも放映。(毎週土曜日 21 時 55 分から)

・テレビスポット CM

東京地区／大阪地区にて 1 月 21 日(土)～1 月 29 日(日)まで放映。

<WEB>

本 CM の 30 秒・60 秒バージョンをアステラス製薬のウェブサイト(<http://www.astellas.com/jp/>)に掲載いたします。またご協力を頂きました、城井文さん、本上まなみさん、矢野顕子さん、が登場するスペシャルコンテンツもご覧いただけます。

<コミュニケーションスローガン「明日は変えられる。」>

アステラス製薬は、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念(存在意義)に掲げています。「明日は変えられる。」というコミュニケーションスローガンは、患者さんとそのご家族にとっては、病気という困難を乗り越えていく勇気と希望のことばであり、アステラスにとっては、アンメットメディカルニーズを満ちし、ほんとうに求められる新薬づくりに挑戦するアステラスグループの社員一人ひとりの決意のことばです。

明日は変えられる。

それはアステラスの、くすりづくりにかける決意のことば。

すべての患者さんと、新薬でともに闘いたい。

病気を克服して、もう一度心から笑ってほしい。

そんなわたしたちの願いを、このことばに込めています。

■アニメーション担当 プロフィール

【城井 文(しろい あや)】



1968 年生まれ

東京芸術大学デザイン科在学中より、CINANIMA 95 (オランダ)入選

BACA - JA 1996 年 最優秀賞受賞、同大学大学院修了作品買い上げ。

修了後、助手、講師をしながら、アニメーション作家として活躍。

子ども番組を中心に PV、CM など、音楽にあわせたアニメーションが得意。

代表作「象の背中」。

現在、東京芸術大学、東京工芸大学、アミューズメントメディア総合芸術学院の非常勤講師も務める。

■ナレーション担当 プロフィール

【本上 まなみ(ほんじょう まなみ)】



1975年東京生まれ、大阪育ち。

女優として数々のドラマ、映画に出演。

バラエティ番組MC、ラジオ番組ナビゲーターも務める。

また、雑誌の連載を持つなどエッセイストとしても活躍。

その活動は多岐に亘る。趣味は絵本の朗読と旅行。

一児の母。

■作曲担当アーティスト プロフィール

【矢野 顕子(やの あきこ)】



1976 年にデビュー。その後、YMO との共演、ピアノ弾き語り「出前コンサート」、児童詩・童謡とのジョイントなど、ジャズ・ロックからクラシックまでの幅広いミュージシャン達との交流を持ち、ジャンルにとらわれない自由・ユニークで質の高い活動を続け、高い評価を獲得。

1990 年、ニューヨーク州へ移住。トーマス・ドルビー、パット・メセニー、チーフタンズ、T ボーン・バーネットをはじめとした、世界的なアーティストとの共同制作を行う。2009 年2月には、10年振りとなる弾き語りアルバム「音楽堂」をリリースした。



僕はアステラスのくすり。



臓器移植を受けた



君と暮らしています。



今日はいよいよ決勝戦。

作曲：矢野顕子



君のドキドキが
聞こえるようです。



僕のドキドキは



聞こえているかな？



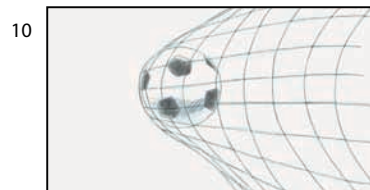
プロの選手になる夢、



一緒に



叶えていこうね。



世界にまだないくすりのために。

S) 世界にまだないくすりのために。



アステラス製薬